

# 札幌市北 3 条広場清掃管理業務 仕様書

## 1 業務の目的

本業務は、札幌の都心において、市民等に多様な活動や休憩・滞在が出来る場を提供することにより、都心全体のにぎわいを創出し、また活性化と都市文化の創造の促進を促し、都心の魅力と活力を高めることを目的として設置された「札幌市北 3 条広場」（以下、「広場」という）において、下記に記載する広場となるよう、適切な清掃管理および必要な各種業務を行うことを目的とする。

「広場」の運営の方向性

- ① 都心の回遊性を高めて歩いて楽しい広場となるようにする
- ② 文化・芸術との出会いの場として文化の香りのする広場とする
- ③ 市民の公共・公益の場として協働のまちづくりを支える広場とする
- ④ 札幌・北海道の魅力を発信する広場とする

## 2 業務の対象区域

札幌市北 3 条広場（別添図のとおり）

## 3 業務履行期間

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

## 4 業務内容

広場のイベント開催等の状況等に応じて、次の日常清掃及び定期清掃を実施し、施設が常に清潔な状態に保たれるようにすること。

### (1) 日常清掃

下表の作業は、日曜・祝日を含む毎日供用時間内に、業務遂行に必要な適正人員を配置して実施すること。

ア 積雪のない時期（4 月～11 月）は、1 日につき 1 回、清掃を行い、表 1 の状態が維持されること。また、設備や備品等については、2 日に 1 回以上、拭き取りを行い、清潔な状態を保つこと。

イ 落葉期は、上記アにかかわらず落ち葉の掃除を適宜行い、通行者の事故防止に努めること。

ウ 積雪期（12 月～3 月）は、通行導線となるロードヒーティング設置場所を中心に清掃を行う。また、積雪があった場合、植栽柵・デッキ上の簡単な除雪作業を行う。

エ 清掃作業と合わせて、広場の設備に異常がないか巡視を行うこと。

オ 広場の使用時間中、利用者その他からの連絡等があった場合は、速やかに清掃を行うこと。

表 1

要素	内容・水準	備考（場所等）
広場表層面	・ゴミ、埃、綿ゴミ、紙くず、ガム等が無く、水やその他の液体がこぼれていない状態であること。 ・備品等の移動に伴うキズ等がないこと。	広場全域
設備、備品	・植栽ますに設置されているベンチや、ボラード等の設備、イス・テーブル等の備品についてほこりや汚れ等を拭き取る。	広場全域
環境	・広場の利用に不要な物品が置かれていないこと。 ・歩行者の通行が妨げられていないこと。 ・不快な臭いがしないこと。	広場全域

## (2) 定期清掃

ア 積雪のない時期（4月～11月）に、1月につき1回、イチョウの落ち葉収集、広場の表層面の洗浄や付着物の除去を行い、表2の状態が維持されること。

イ 雪解け期（3月）は、1月につき2回、雪の中に含まれていたゴミ、泥、落ち葉等の収集、広場の表層面の洗浄や付着物の除去を行う。

ウ 年間作業工程表を策定して実施することとし、工程は事前に委託者と協議すること。

表 2

要素	内容・水準	頻度	備考
広場表層面	・広場の表層面に、泥、落ち葉、付着物、汚れ等が無いこと。	・4月～11月は月1回 ・3月は月2回 (汚れが目立つ落葉期は別途協議して実施する)	広場全域

## (3) 特殊清掃

ア 1年につき1回、薬剤やポリッシャーを使用した表層面の洗浄を行い、表3の状態が維持されること。

イ 薬剤については、引火性、中毒性等の危険性に配慮がなされ、かつ清掃箇所の材質に適した品質の良好なものを使用すること。

ウ 計画を策定して実施することとし、計画は事前に委託者に届け出ること。

表 3

要素	内容・水準	頻度	備考
広場表層面	・広場の表層面の汚れやしみが除去されていること。	年1回	広場全域

#### (4) 塵芥処理

- ① 積雪のない時期（4月～11月）は、1週間につき1回、収集したごみを処理する。
- ② 雪解け期（3月）は、1月につき2回、収集したごみを処理する。
- ③ 広場の廃棄物により、施設の利用環境、周辺環境が悪化しないこと。
- ④ 表4に示す内容に従い廃棄物を収集、保管・管理、処理すること。
- ⑤ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例及び同条例施行規則、その他の関係法令を遵守すること。

表 4

要素	水準	備考
○事業系一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"><li>・紙くず、ビン、缶、ペットボトル、生ゴミ等の事業系一般廃棄物は、分別・収集し、所定のごみ集積場に運搬・集積し、札幌市指定の方法により処理すること。</li><li>・収集したゴミを集積場所に保管する際には、分別整理、整頓がされていること。</li><li>・集積場所は、ゴミの散乱、悪臭の発生、ねずみや病害虫の発生が無いこと。</li></ul>	個人情報保護条例第11条

#### (5) 管理業務

広場の利活用に関して安全が保たれるよう、広場の状況についてチェックを行い、報告の必要があると判断した場合は、委託者の速やかに報告し指示を受けること。

#### (6) その他

- ① 清掃作業に使用する洗剤、ワックス等は、厚生労働省が定めたシックハウス症候群の原因物質として濃度指針を定めた物質を含むものは使用しないこと。
- ② 各々清掃箇所に適した効果的な清掃を実施し、特に床材（レンガ）に配慮した適切な方法にて行うこと。また、電気・水道の使用に当たっては、極力節約に努めること。
- ③ 業務に従事する者のうち1名を現場責任者として定め、業務全体の監督・指導に当たらせること。
- ④ 業務に従事する者は、業務に適した同一の作業服・作業帽・作業靴などを被着し、作業服等の管理については、清掃場所が公共空間であることを認識し、衛生・身だしなみには充分配慮し、必要な措置を行うこと。  
衛生・身だしなみについて、委託者が指示をした場合は、迅速に対処すること。
- ⑤ 業務の実施に当たっては、広場の利用や歩行者の通行の支障とならないよう十分に注意して行うこと。また、作業員の事故防止に十分注意するとともに、事故に対する一切の責任を負うこと。
- ⑥ 業務の実施にあたって、備品及び設備等を破損し又は破損箇所を発見したときは、直ちに連絡し、所定の処置をとらなければならない。
- ⑦ 作業に従事する者は、身分証明書を携帯すること。

## 5 業務体制

### (1) 現場責任者及び業務者

ア 受託者は直接常用雇用契約関係にあるものの中から業務従事者を定めること。

ただし、現場責任者にあつては直接常用雇用契約関係が継続して1年以上ある者の中から定めること。

イ 当該業務の現場責任者は、清掃作業監督者の有資格者として告示日を起点とした過去3年間において、一契約あたりの清掃対象面積が1万平方メートル以上の公共施設において清掃業務の良好な履行実績（1年以上継続して履行しているもの）を有すること、及び公益社団法人全国ビルメンテナンス協会が認定する建築物清掃管理評価資格（インスペクター）の有資格者として作業場所に常駐し業務を執行すること。

ウ 現場責任者が不在時には業務責任者の補助者として、ビルクリーニング技能士の資格を有する者を副責任者として配置すること。

### (2) 連絡、報告及び調整

本業務を円滑に遂行するため、連絡、報告及び調整に係る体制を定めること。

## 6 提出書類

### (1) 契約時の提出書類

契約金額に対する積算根拠（積算内訳）として、業務費内訳書を提出すること。

### (2) 履行開始時の提出書類

年間業務工程表を履行開始日の前日までに作成し提出すること。また、従事する労働者が変更となる場合には、その都度、業務従事者名簿を提出すること。

### (3) その他の提出書類

毎月の業務が完了したときは、所定の業務報告書を翌月の5日（当該日が土・日・祝日に当たるときはその直後の平日）までに提出すること。

ただし3月の業務に係る報告書は、3月31日に提出すること。

### (4) 業務従事者への健康配慮

業務対象施設に日常的に従事（常駐）する労働者（業務従事者名簿により報告のあった労働者）の健康診断受診等状況を確認するため、必要に応じて当該報告事項確定後から履行期間終了日までの間に、業務従事者健康診断受診等報告書の提出を求めることがある。

### (5) 労働基準等の遵守

業務従事者における労働社会保険諸法令の遵守確認のため、必要に応じて雇用契約書、賃金台帳、社会保険届出書等の関係書類の写しを求めることがある。

## 7 費用の負担

清掃作業に係る機械器具・材料等は、すべて受託者の負担とする。

なお、札幌市北3条広場には当該業務実施のための物品庫・塵芥庫・控室等が設置されてい

ないため、受託者において近隣に確保し業務を履行すること。

## 8 その他特記事項

- (1) 受託者は、本業務の遂行にあたり、十分な安全確保に努めること。
- (2) 業務遂行にあたっては、委託者と受託者の連絡を密にして作業を進め、疑義が生じた場合は、委託者、受託者双方が協議してこれを処理する。
- (3) 市民対応については、利便性を高めるサービス施設であることを自覚し、満足度を高めるよう努めること。
- (4) 受託者は本業務の遂行に際し、知り得た一切の事項については外部に漏えいがないよう注意すること。また、委託者が提出する資料を無断で第三者に提供したり、目的外に使用しないこと。
- (5) 本業務の遂行にあたって、下記項目に要する費用は受託者の負担とする。
  - ア 受託者の過失による機器および施設への損傷を与えた場合の復元の費用
  - イ 受託者が第三者に損害を与えた場合の費用
- (6) 業務の履行に関しては、環境負荷の低減に努めること。また、使用する紙類等は極力環境配慮したものとする。
- (7) その他、本仕様書に明記されていない事項については、委託者の指示によること。